



米子工業高等専門学校

B&C研究同好会

卵殻廃棄物のリサイクルによる建材の開発

食品廃棄物の中でも利活用が進んでいない卵の殻について応用ができる研究を進めている。壁材や樹脂に卵殻を混ぜた材料を作り、それが使えるか検討を行い、見た目の仕上がりが良い石膏と卵殻を組み合わせた素材について、暮らしの役に立つ材料を開発した。



広島県立世羅高等学校

鯉米

錦鯉廃棄稚魚を活用した鯉米・魚醤生産による地域活性化

多くの鯉の稚魚が発色の悪いことを理由に、1年間で396万匹が産業廃棄物として処分されている。処分される鯉の活用方法として魚醤を生産した。耕作放棄地対策として無農薬米を栽培することを考え、廃棄される鯉の稚魚が田の除草をする鯉米を作った。米に付加価値をつけることができた。



広島市立広島工業高等学校

広島市エグリーン・プロジェクト

高校生による、持続可能な社会の実現

身近な環境情報を知ることを通して地球環境の現状把握「見える化」を行い、データの蓄積により長期変化や局地的な異変などを考察し、地球環境への負荷を軽減するエコアクションに展開する。防災対策と復旧活動に役立てる用品の製作と災害に備えるエコ活動を目指す。



出雲西高等学校

インターラクタクラブ

出雲発! 海岸清掃及びマイクロプラスチック問題についての考察

生態系への悪影響が懸念されるマイクロプラスチックについて、身近な海岸における存在の実態を把握するため、海辺の漂着物調査を行う。人間が自然に対し関わりを持ち、大切にし、ゴミを取り除こうと努力している海岸はゴミが少なく、マイクロプラスチックの数も少なかった。



島根県立江津工業高等学校

KM班

環境 to ものづくり

地場産業である石州瓦の破片、木材のおがくず、使用期限が切れたセメント、不要になった採石の活用について研究をした。捨てるだけであった割れた瓦や古い瓦を利用して花壇の石垣作り、古いセメントと割れた瓦を材料にし、おがくずを混ぜた保水性のよいセメント製品を製作した。



山口県立防府商工高等学校

3年課題研究 ホットショップ 店舗経営班

持続可能な環境活動を目指して～エシカル消費が世界を変える～

「エシカル消費」という考え方をもとに活動を行っている。「SDGsフェスタ」というイベントを地元防府市内の合計6店舗で開催した。また全国産業教育フェア山口大会では、子供達に楽しみながら「SDGs」の内容が学べるよう工夫して「SDGsゲーム」を実施した。



徳島県立新野高等学校・小松島西高等学校勝浦校・小松島高等学校

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム

今、地球のために私たちに何ができるか!「刈草」から無限に広がる高校生の環境社会イノベーション

東日本大震災への復興につながる活動として、岩手県陸前高田で私たちが開発した資源循環型肥料「もったいない2号」が桜の植樹用土に活用されている。徳島県内では、徳島県のレッドデータブックに掲載されている「ナミキソウ」の保護活動に地域と連携して取り組んでいる。



徳島県立徳島商業高等学校

ビジネス研究部

Palmsugar Story ~未来への希望~

カンボジアで活動。狙いは、1. 食品加工工場に共有するヤシ砂糖を衛生的で安全なものにしたい。2. カンボジアの地方のヤシ砂糖農家の生活向上を図りたい。3. ヤシ砂糖を活用して、徳島県民の健康増進を図りたい。4. 2020 東京オリンピック・パラリンピックの関連施設に食材として供給したい。



香川県立笠田高等学校

植物バイオコース

よみがえれ 我がふる里の自然 ~ササユリの保護と増殖に関する研究~

瀬戸内海に浮かぶ広島には、香川県の天然記念物であるササユリが自生している。現在、絶滅危機状態となり、ササユリ保存会のみなさんと一緒に島に球根を植え付け、観察を継続中。私たちが目標とするのはバイオ技術ではなく、種子繁殖で簡単に増殖できる方法の確立。



愛媛県立今治西高等学校

生物部

今治市蒼社川の生態調査と都市河川としての保全

「蒼社川」は今治平野を形成する二級河川。蒼社川での生態調査に継続的に取り組み、上流部で絶滅危惧種の繁殖地を発見しての保全、水生昆虫による水質汚染調査の新しい手法の開発、今治市下水浄化センターと協力した子どもたちへの教育などの活動を行っている。



愛媛県立上浮穴高等学校

カホンプロジェクトチーム

森林(もり)の想いを音色にのせて ~カホンを通じた森林環境教育の実践とSDGs達成に向けた取組~

上浮穴郡久万高原町は、森林面積が90%以上を占める。持続可能な森林管理技術の確立、木材利用の推進と啓発、SDGs達成に向けた取組の3本を柱として活動を行っている。間伐を実施し適正な林分密度へ誘導。ワークショップを行い、355個のカホン(楽器)を製作した。



高知県立伊野商業高等学校

和紙部

土佐和紙の魅力を伝えよう!

地域の宝である土佐和紙の魅力を知り、新たな商品開発をしている。高校の学園祭で、和紙部のブースを立ち上げ、自分たちの製品(名刺の紙、葉、和み灯りという名前の照明)を販売した。地元の職人さんのブースも作り、会場のお客様に土佐和紙の魅力を紹介し、販売の手伝いをした。

